LIXIL SHINNIKKEI

施工説明書番号	ME-1458

改－5

木樹脂®フェンスＪ型 施工説明書 -自在柱式-

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●ブロック施工には重量ブロック JISA5406 区分 16（C 種）以上を使用してください。高さ 1200 風速 38m/s の場合は、12cm ブロック以上を使用してください。
●ブロック塀の総高さ（フェンス含む）は 2.2m を超えないように施工してください。
●フェンス柱はブロックの中心に設置してください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●支柱の水抜き穴はモルタル等で塞がないでください。
●風当りの強い場所にフェンスを設置する場合は、自在柱式納まりで柱間隔を 1000mm 以内にしてください。
●屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●本体に乗ったり、揺すったり、腰掛けたりしないでください。
●商品をみだりに改造、変更しないでください。
●本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
●商品に電線等を直接載せないでください。

使用上のご注意について

●樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
●フェンスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
●微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分ご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

●汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
●年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
●汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

※「木樹脂」は当社の登録商標です。

もくじ

組立・施工の前に……1
施工時の注意事項……1
使用上のご注意について……1
樹脂製品のお手入れ方法について……1
梱包明細……2
納まり図……2
１．柱の設置……2
２．フェンス本体の取付け……3
２－１ 直線部の取付け……3
２－２ コーナー部の取付け……3
３．フェンス本体の切り詰め (W 寸法)……4
３－１ フェンス本体の分解・組立……4
３－２ 切詰め加工寸法……7
施工工事店様、販売店様へのお願い……8

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

■梱包明細

表内の (　) は個数を表しています。

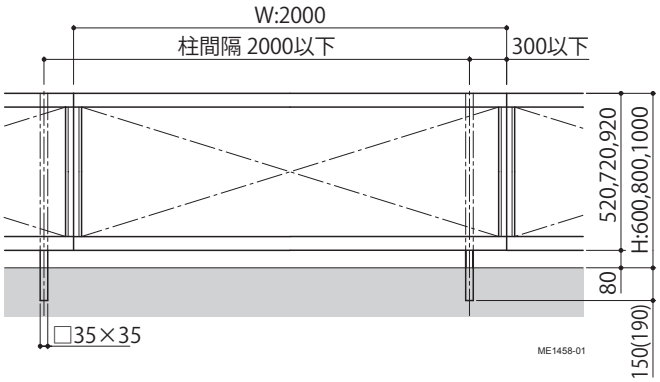
名称	内容
フェンス本体	本体（1）
自在柱	自在柱本体 (1)・上部固定金具 (1)・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種 (1)・連結金具 (2) φ 4 × 20 トラスタッピン 3 種 (4)・M4 用平座金 (4)
エンドキャップ	エンドキャップ (4)・φ 4 × 20 トラスタッピン 1 種 (4)・M4 用平座金 (4)・施工説明書 [ME-1458]（1）
コーナーヒンジ	コーナーヒンジ (2)・φ 4 × 20 トラスタッピン 1 種 (4)・M4 用平座金 (4)
目隠しコーナー継手	目隠しコーナー継手本体 (1)・コーナーブラケット（4)・φ 4 × 15 トラスタッピン 3 種 (4)

■別売部品

表内の (　) は個数を表しています。

名称		内容
端部カバー	(J1・J5 型)	縦枠 (2)・φ 4 × 65 ナベタッピン 2 種 (4)
	(J3・J8 型)	縦枠 (2)・φ 4 × 65 ナベタッピン 2 種 (4) φ 4 × 25 ナベタッピン 2 種 <H:600(16)/H:800(24)/H:1200(32)>
連結部品		連結金具 (2)・φ 4 × 20 トラスタッピン 3 種 (4)・M4 用平座金 (4)

納まり図



※ W= フェンス巾寸法、H= フェンス高さ寸法を示しています。
※本図は J1 型 H=800 タイプの外観図です。
※ (　) は H=1000 の場合を示します。

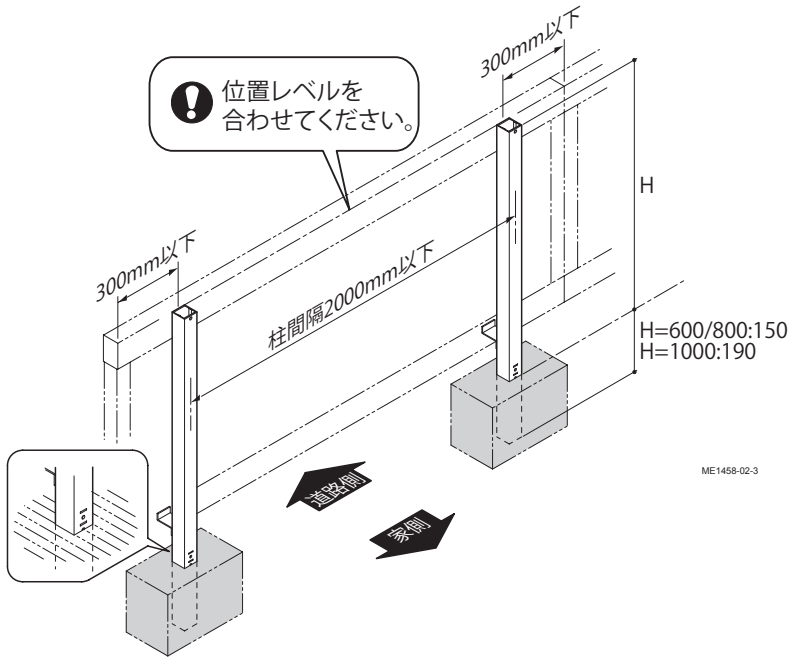
1 柱の設置

①納まり図で柱の埋め込み位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

設置位置

柱間隔	2000mm 以下
柱位置	本体の連結部・端部より 300mm 以下

⚠注意 柱の埋め込みは、位置およびレベルを正確に合わせてください。



レベル穴を目安にしてください。

地下埋没物 (給排水管等) に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

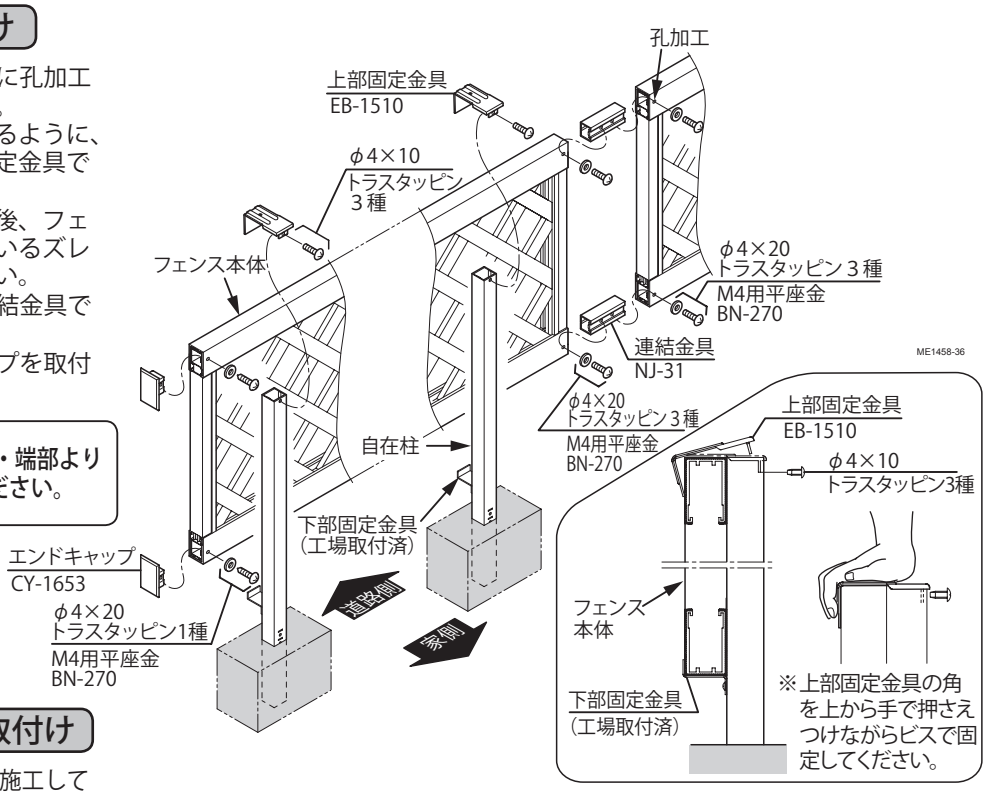
2 フェンス本体の取付け

●本図はラチスパネル使用の場合を示しています。

2－1 直線部の取付け

①フェンス本体上下胴縁の見付に孔加工がある側が、裏面になります。
裏面が家側（自在柱側）にくるように、フェンス本体を上部・下部固定金具で固定してください。
フェンス本体を柱に組み込み後、フェンス本体上下胴縁に貼られているズレ止めテープをはがしてください。
②連結の際はフェンス本体を連結金具で連結してください。
③フェンス端部にエンドキャップを取付けてください。

柱の位置は必ず連結部・端部より300mm 以内にしてください。

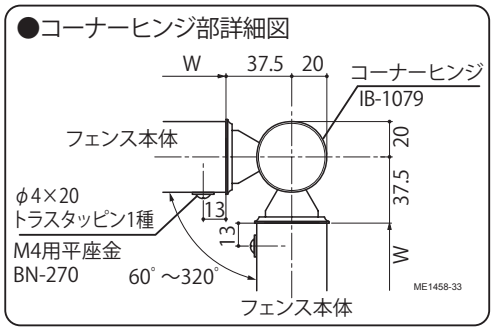


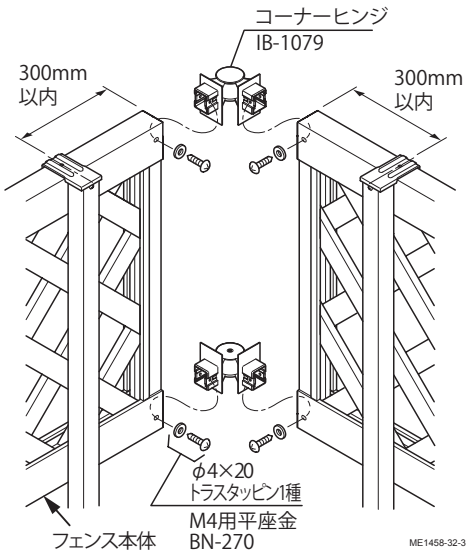
2－2 コーナー部の取付け

●コーナー部は柱２本建てとして施工してください。

柱の位置は必ずコーナー部より300mm 以内にしてください。

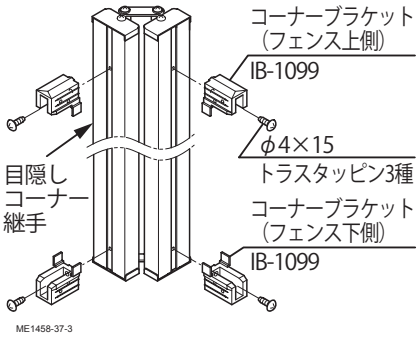
■コーナーヒンジの場合

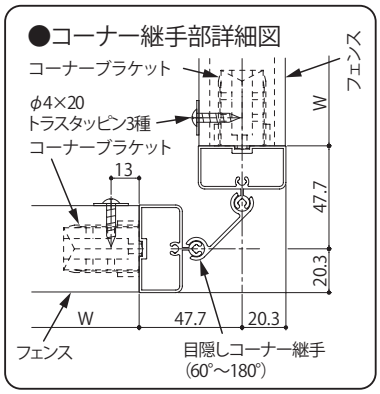


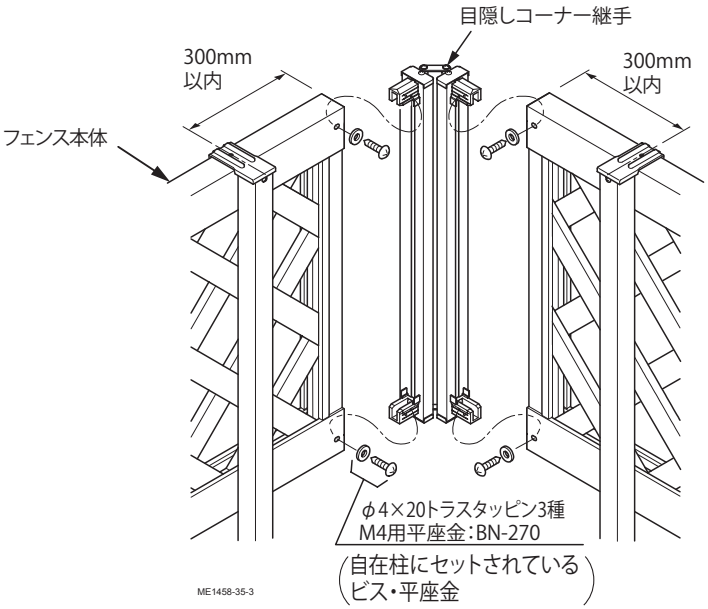


■目隠しコーナー継手の場合

※先にコーナーブラケットを取付けてください。







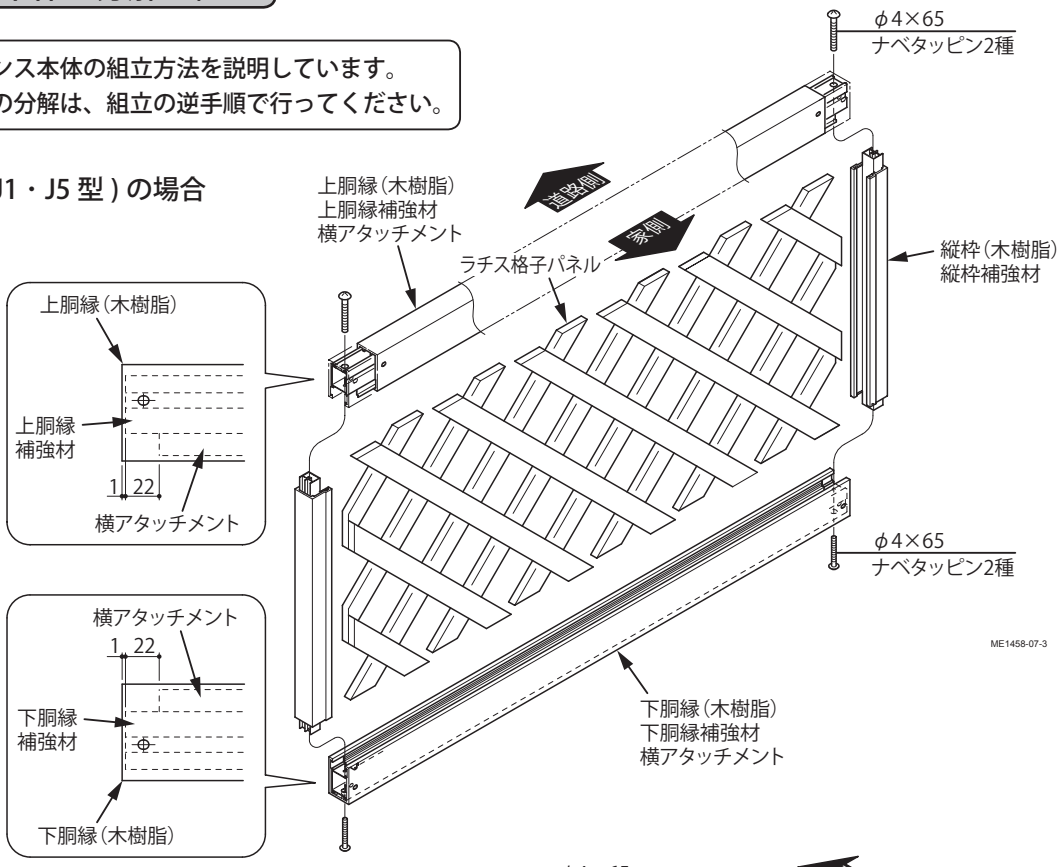
3 フェンス本体の切り詰め (W 寸法)

●現場寸法に合わせ、フェンスの切り詰め加工を行う場合に参照してください。

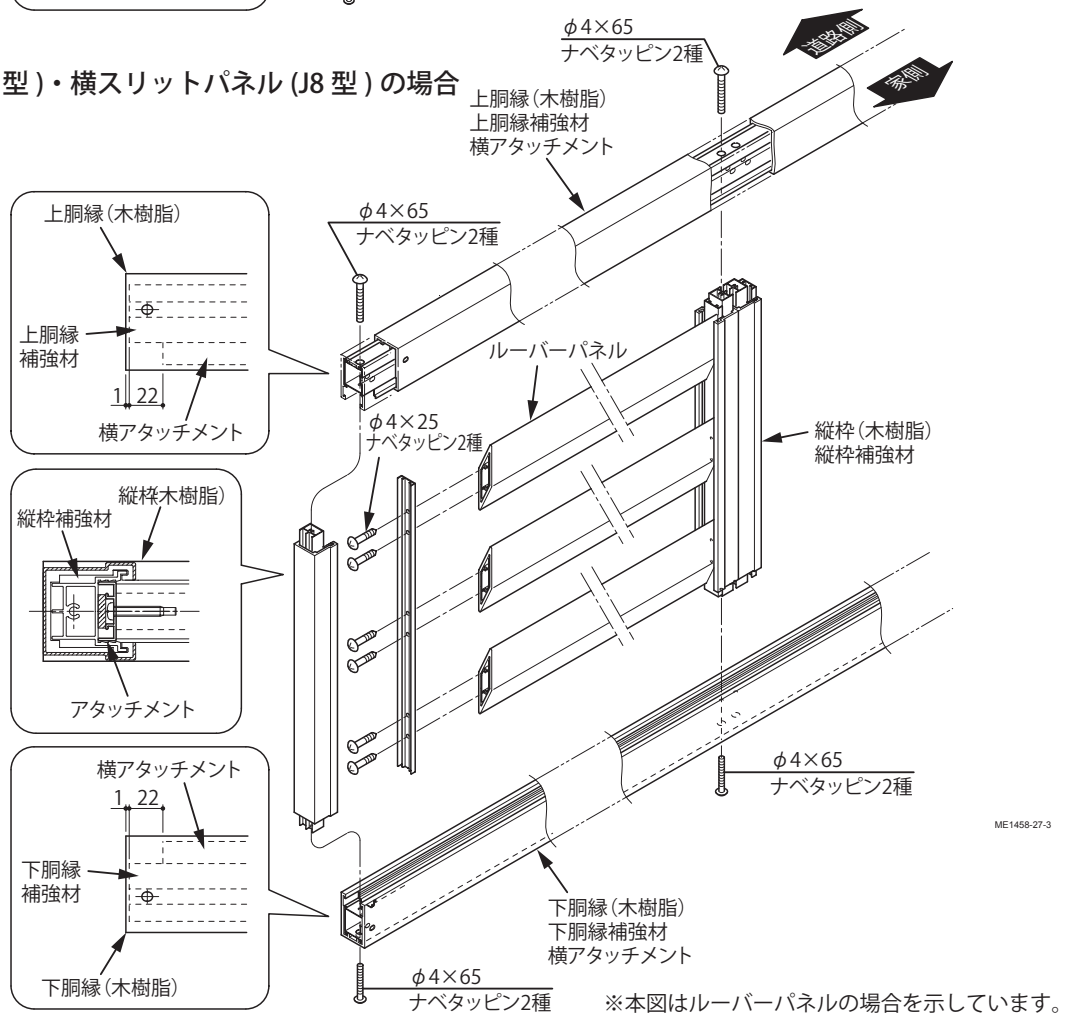
3－1 フェンス本体の分解・組立

ここではフェンス本体の組立方法を説明しています。
フェンス本体の分解は、組立の逆手順で行ってください。

■ラチス格子パネル (J1・J5 型) の場合



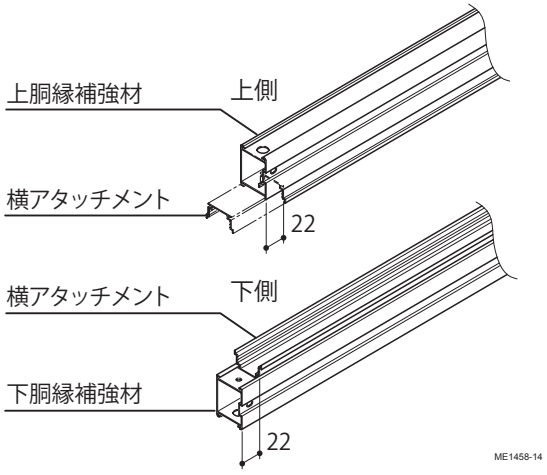
■ルーバーパネル (J3 型)・横スリットパネル (J8 型) の場合



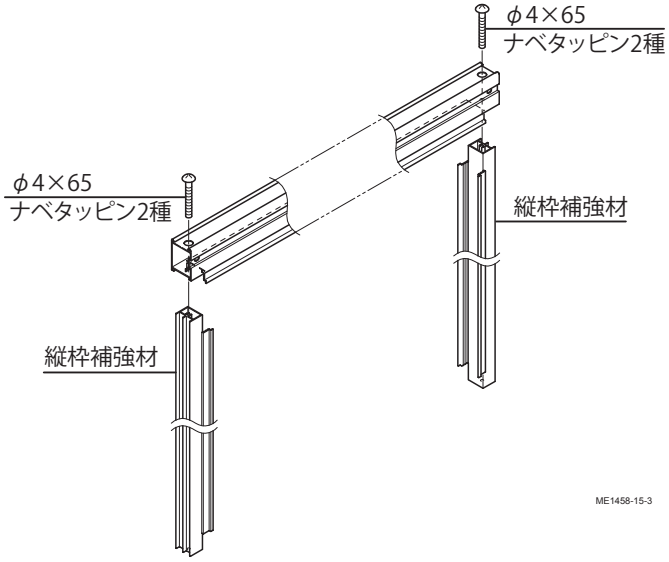
※本図はルーバーパネルの場合を示しています。

〈●組立方法〉

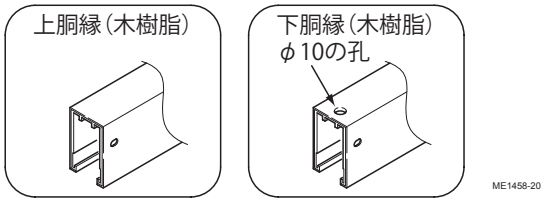
①横アタッチメントを上・下胴縁補強材に挿入してください。

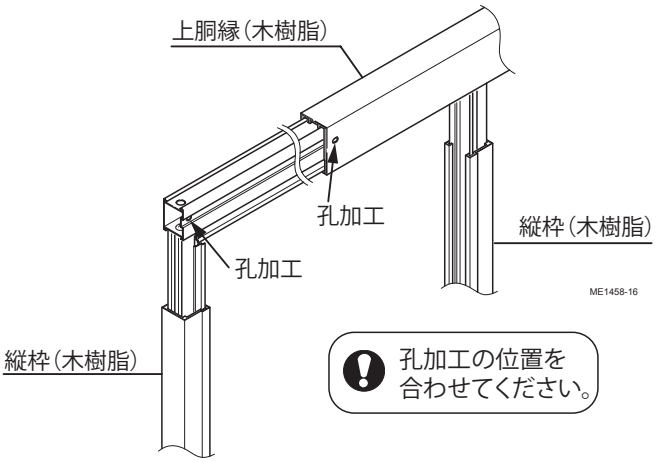


②縦枠補強材を両側にビスで取付けてください。



③上胴縁（木樹脂）を上胴縁補強材に挿入してください。
※見付面の孔加工の位置を合わせてください。
※下胴縁（木樹脂）にはφ 10 の孔加工が施されています。　間違えないようにしてください。

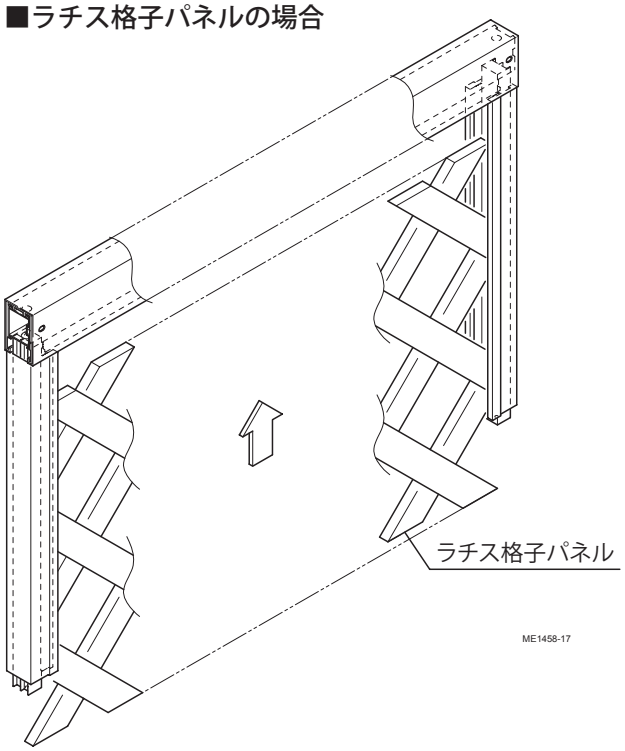




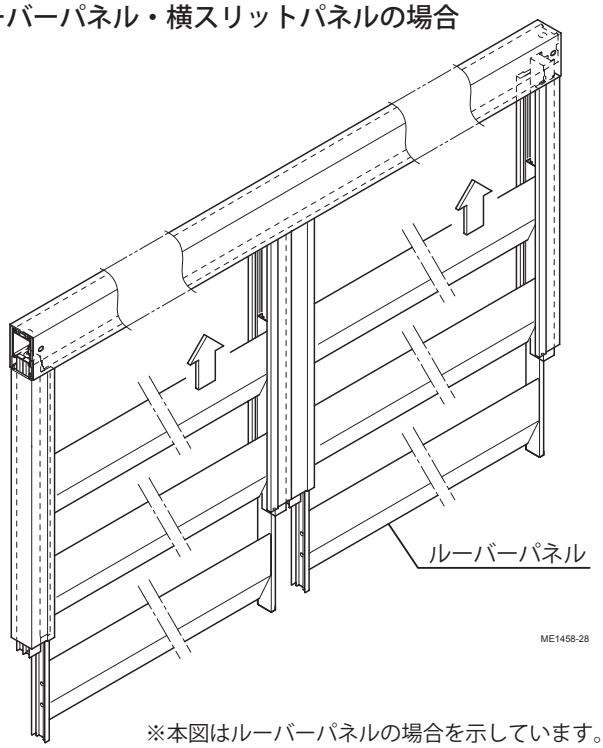
④縦枠（木樹脂）を縦枠補強材に挿入してください。

⑤パネルを挿入してください。

■ラチス格子パネルの場合



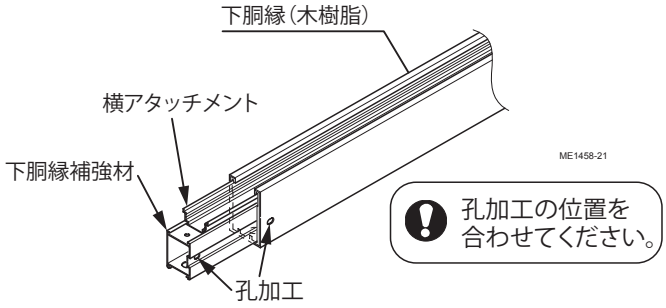
■ルーバーパネル・横スリットパネルの場合



※本図はルーバーパネルの場合を示しています。

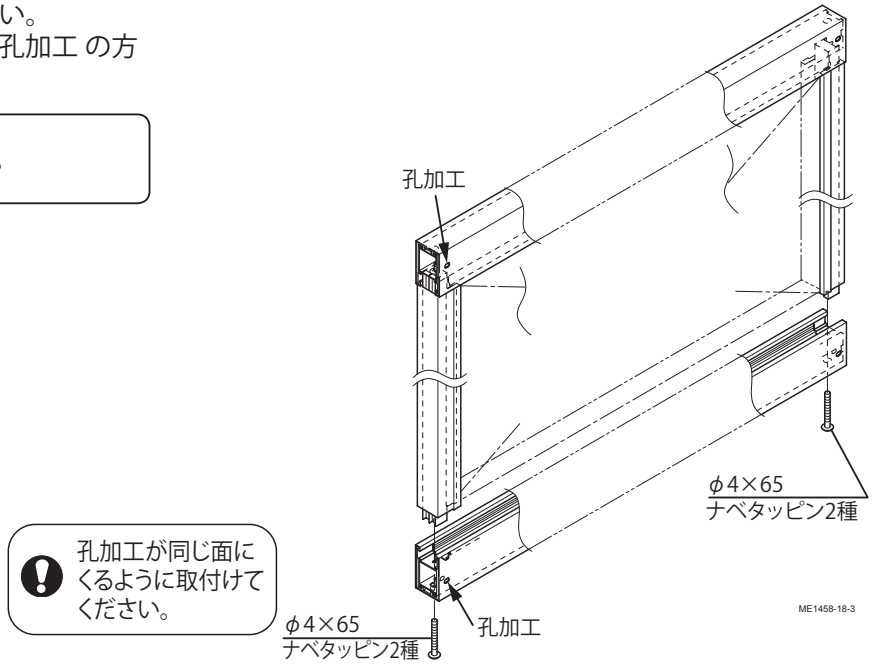
⑥下胴縁（木樹脂）を①の下胴縁補強材に挿入してください。

見付面の孔加工の位置を合わせてください。



⑦下胴縁一式をビスで取付けてください。
その際、上胴縁と下胴縁の見付面の孔加工 の方向を合わせてください。

孔加工は裏面にしかありません。



3－2 切詰め加工寸法

①フェンス本体を切断可能な形まで分解し、上下胴縁 (木樹脂)・上下胴縁補強材・横アタッチメント・パネルを任意の寸法で切断してください。なお、各部材は同寸法で切断してください。

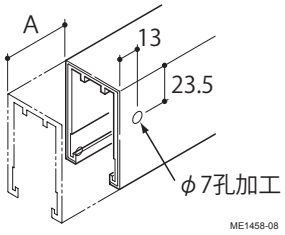
②切り詰め加工後、右図を参照して孔加工を行ってください。

> **横アタッチメント・ラチス格子パネルには孔加工はありません。**

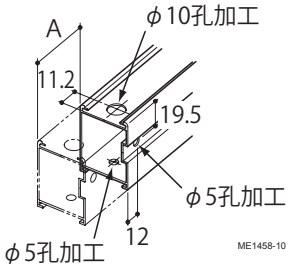
③フェンスの組立方法（P.5）を参照して組立ててください。

> **1 枚のフェンスを切断して 2 枚で使用する場合は、端部カバー（別売）が必要になります。**

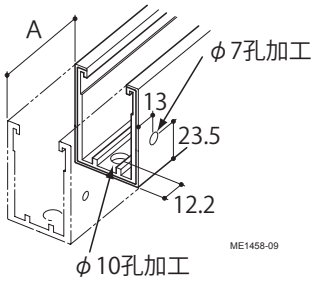
■上胴縁（木樹脂）



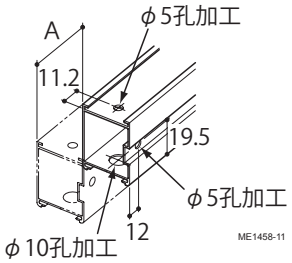
■上胴縁補強材



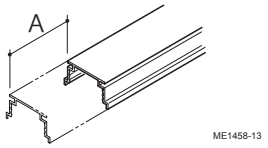
■下胴縁（木樹脂）



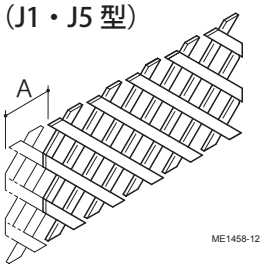
■下胴縁補強材



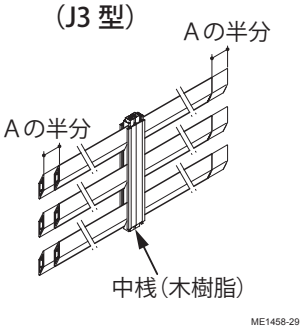
■横アタッチメント



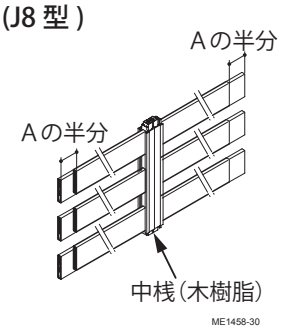
■ラチス格子パネル（J1・J5 型）



■ルーバーパネル（J3 型）



■横スリットパネル (J8 型)



■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。 お客様相談室 0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ http://www.lixil.co.jp